

# 平成30年度兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会（議事録）

日時： 平成 30 年 6 月 19 日（火） 14 時から  
場所： 兵庫県学校厚生会館 3 階 大会議室  
出席者： 52 名（がん登録部会会員）

## 1 開会 （山下部会長挨拶）

情報の公表は、患者さんが治療を選択するために正確な情報を提供することと、病院が自施設の情報を他の病院と比較し、分析することにより、病院のリスクマネジメントに役立てることを目的にしている。情報の開示方法は、議論後に、結論を幹事会に報告し、日頃から集めた情報を充分役立てられるように公開していただきたい。

## 2 議事

### （1）兵庫県で登録数が多い3大がん（大腸・肺・胃）の施設別治療法の登録件数と割合の公表について （山口副部会長説明）

拠点病院の指定要件に院内がん登録数や各治療法についてのがん種別件数についてホームページなどで情報公開に努めることと明示されており、平成 28 年度から情報公開について実務者ミーティングで検討している。H29 年 3 月末に 2014 年の施設別部位別登録数と割合を「兵庫県がん診療連携協議会ホームページ」で公表した。昨年度は、2015 年症例の公表について近隣地区別で 5 圏域に表示し登録数を公表した。治療集計は、5 項目に集約した。がん種別治療成績が 10 件未満の場合について、件数の公表を控えてほしいというご意見をいただいている。この公表案について検討していただきたい。

#### （検討結果）

- ・参加施設の反対意見はなく、公表してよいという意見が多数を占めた。
- ・がん登録集計は、次の幹事会に報告し、幹事会で改良の意見があった場合は検討するが、基本的には公表する形で部会の意見とする。
- ・症例が少ない場合の数の見せ方については全国集計に順じて 2016 年症例から 1-3 件、4-6 件、7-9 件の表示となる。積み上げのグラフでおおよその件数は目算できるので、実数字表示はしない。

### （2）届出後の初回治療の追加登録について （安東副部会長説明）

初回治療の登録方法について、2016、2017 年の症例に関しては院内がん登録の登録方法が変わった。全国集計 3 年予後報告する病院と全国がん登録のみの病院では、追加治療の登録の有無で違いがあり兵庫県で集計するには初回治療の追加登録をどうするか決めていただきたい。前回の実務者ミーティングでは、追加登録したデータの統計をホームページに公表という意見が多かった。2016 年症例のデータ集計時期は今年 12 月とし、来年 2 月の実務者ミーティングで確認後、年度末には公表したい。

#### （検討結果）

- ・実務者は、病院の初回治療の実績を残すためには追加登録をしたいが、同じ精度管理という意味では、業務量の関係で追加登録ができない病院があるのは望ましくない。2016 年、2017 年症例は部会としては国立がん研究センターの 0 年登録の基準にそろえる形にする事に会場内異議なく決議する。

## 3 報告

### （1）平成 30 年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会の結果 （西尾副部会長報告）

- ・5 月 25 日に国立がん研究センターで開催された会議で全国がん登録の 2016 年診断症例の予後について 2019 年より情報提供が開始される。それに伴い予後調査支援事業は終了となる。
- ・がん診療連携拠点病院の指定要件の見直しについて、院内がん登録実務者に中級認定者を配置すべきという点と中級認定更新試験の改訂案について、各施設から質問があった。

- ・都道府県がん診療連携拠点病院協議会登録部会が行う Quality Indicator 研究に参加すべきとのこと。QI には拠点病院の 7-8 割が参加している。

(2) 地域がん登録の状況 (兵庫県健康財団 がん登録室 細川課長報告)

- ・地域がん登録の概要について資料に基づいて報告した。

(3) その他

- ・全国がん登録の平成 28 年 (2016 年) 診断症例データ公表予定等配布資料に沿って説明した。

4 閉会

(山下部会長挨拶)

二次医療圏域は、中播磨と西播磨が合併し姫路播磨圏域になる。2015 年のがん種別治療法の公表データは中播磨と西播磨と標記されている。新しい圏域表示を検討する。

部会での意見を、次の幹事会に報告し、実務者がより働きやすい環境の実現に向けて努力するので引き続きがん登録部会の活動に協力頂きたい。